

異国への あがれ

―唐物、島物、古渡り―

2展を
同時開催

重要文化財〈竹林山水図〉伝夏珪筆 南宋時代10/17、11/15展示



《砂張釣花入 銘 針屋舟》15世紀



《禾目天目茶碗》南宋時代



《阿蘭陀莨葉水指》17世紀

2026
10.17
sat
/ sun
12.13

●会場 | 荏原 畠山美術館
本館2階展示室、新館2階展示室、新館地下1階展示室

●休館日 | 月曜日、11月17日〔火〕、11月18日〔水〕は休館
11月23日〔月・祝〕は開館、11月24日〔火〕は休館

●開館時間 | 10時～17時(最終入館16時30分)

●入館料 | 一般1,500円／高校生・大学生1,000円
中学生以下無料(但し保護者の同伴必要)

●主催 | 荏原 畠山美術館

●特別協力 | リボリアンティークス

<https://www.hatakeyama-museum.org/>
お問合せ: 050-5541-8600 [ハローダイヤル]

畠山
EBARA HATAKEYAMA
MUSEUM OF ART
荏原 畠山美術館

2展を
同時開催

Steinlen and the Japonisme of Cats

―From Manet to Le Chat Noir and into the Art Nouveau Era―

●秋季展―スタンラン展―新館2階・地下1階

―マネからシャ・ノワール(黒猫)、アール・ヌーヴォーの時代へ―

2026
10.17
sat
/ sun
12.13

●会場 | 荏原 畠山美術館
本館2階展示室
新館2階展示室、新館地下1階展示室

●休館日 | 月曜日
11月17日〔火〕、11月18日〔水〕は休館
11月23日〔月・祝〕は開館、
11月24日〔火〕は休館

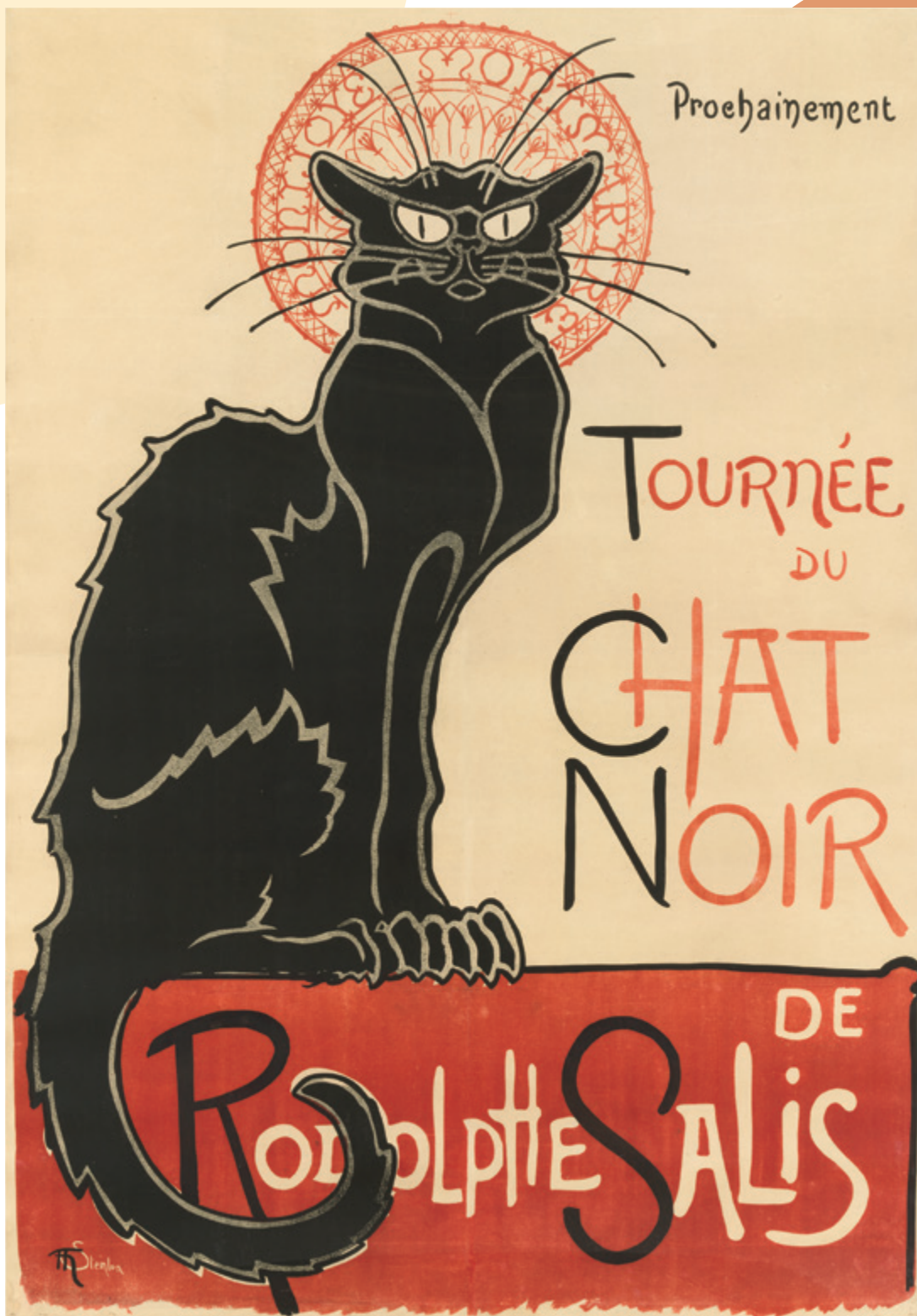
●開館時間 | 10時～17時
(最終入館16時30分)

●入館料 | 一般1,500円
高校生・大学生1,000円
中学生以下無料(但し保護者の同伴必要)

●主催 | 荏原 畠山美術館

●特別協力 | リボリアンティークス

<https://www.hatakeyama-museum.org/>
お問合せ: 050-5541-8600 [ハローダイヤル]



テオフィル=アレクサンドル・スタンラン《シャ・ノワールの巡業》1896年、中村大地コレクション

畠山

EBARA HATAKEYAMA
MUSEUM OF ART
荏原 畠山美術館

Steinlen and the Japonisme of Cats

—From Manet to Le Chat Noir and into the Art Nouveau Era—

猫のジャポニスム

—マネからシャノワール(黒猫)へ、アール・ヌーヴォーの時代へ—

●秋季展「スタンラン展」新館2階・地下1階

2展を同時開催

公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団は、これまでジャポニスム学会への支援や国際シンポジウムの共催などを通じ、長年にわたりジャポニスム研究・交流を支えてまいりました。こうした活動を背景に、この度ジャポニスムの魅力を広く紹介する展覧会を開催いたします。

19世紀末、浮世絵をはじめとする日本美術がパリで注目を集めると、西洋では長らく異端とされてきた猫が、モダン・アートを彩る重要なモチーフへと変貌しました。なかでも、猫を繰り返し描いた画家として知られるのが、テオフィル=アレクサンドル・スタンランです。

本展では、スタンランを中心に、西洋の版画やポスター、日本の浮世絵など約100点を展示。さらに、初公開となるジャポニスム関連資料も紹介いたします。猫という身近で魅力的な存在を入口に、19世紀末のパリで花開いた日本美術との出会いと、そこから生まれた新たな表現の世界をお楽しみください。

●テオフィル=アレクサンドル・スタンラン (Théophile-Alexandre Steinlen, 1859-1923)

1859年11月10日、スイスのローザンヌに生まれる。はじめフランス東部のミュールーズで綿織物工場の図案家として働いた。1881年、妻エミリエとパリへ移り、以後モンマルトルを拠点に、挿絵、ポスター、版画、彫刻を制作。同年、ロドルフ・サリ(1851-1897)が開店したキャバレー「シャ・ノワール」で活動した。1890年代には、日本を題材としたバレエ「夢」のポスター(1890)、ボディニエル画廊での初個展(1894)、代表作《シャ・ノワール巡業》(1896)などを手がけ、活躍の場を広げた。愛らしい猫を描きながら、擬人化を通して社会や人々の気質を風刺した。1923年12月14日パリのコランクール通り73番地で逝去。享年64。



1



2



4



3



5



6



7



8

- 1 テオフィル=アレクサンドル・スタンラン《ヴァンジャンヌの牛乳》1894年、中村大地コレクション
- 2 テオフィル=アレクサンドル・スタンラン《ボディニエルでのスタンラン展》1894年、中村大地コレクション
- 3 深斎英泉《猫を抱く女性》1835年、中村大地コレクション
- 4 エドゥアール・マネ《猫と花》1870年、個人蔵
- 5 藤田嗣治《日本美術展—現代の古典派》1929年、中村大地コレクション
- 6 テオフィル=アレクサンドル・スタンラン《モーリス・ドネーによる「灰」》『ジル・ブラ・イリュストレ』誌 1898年、須長泰一氏蔵
- 7 テオフィル=アレクサンドル・スタンラン《夢》1890年、中村大地コレクション
- 8 テオフィル=アレクサンドル・スタンラン《アシシアン》1900年頃、中村大地コレクション



《唐物南京玉入藤組手付茶入》明時代



《青磁鳳凰耳花入》南宋時代



《南蛮横縄耳付共蓋水指》16～17世紀

茶の湯は、誕生の瞬間から常に「海の外にあるまだ見ぬ異国へのあこがれ」を原動力として発展してきました。そのあこがれは時代ごとに「賞揚(権威)」から「見立て(美学)」、そして「地球規模の交易(ロマン)」へと形を変えてゆきました。

本展では、最高峰の唐物や島物、古渡りの名品が集結します。かつての人々が異国の美に捧げた情熱と審美眼にふれていただける貴重な機会です。時代を超えて私たちの心を捉えて離さない「異国へのあこがれ」の物語を、秋深まる荏原 畠山美術館でぜひご堪能ください。



《御所丸茶碗 銘 堅田》朝鮮時代



《砂張蜜》仕覆：紺地モール葡萄栗鼠文錦、古渡けし模様更紗



《賤が屋の夕顔図》酒井抱一筆 江戸時代

- 関連イベント[事前申込制] ※詳細、申込方法は別途当館ウェブサイトをご確認ください。
- オープニングギャラリートーク(新館:スタンラン展)日時:10月17日[土] 11:00~12:00 | 会場:荏原 畠山美術館 新館展示室講師:岡部昌幸(当館館長)
- 秋の美術館で「写真×俳句」日時:10月18日(日) 13:00~講師:伊奈英次(写真家)、堀田季何(俳人・歌人)
- 講演会日時:11月14日[土]「スランランの生涯と芸術」講師:中村大地氏(フランス近代美術研究家、リポリアンティークス代表)
- 鑑賞会(本館:畠山コレクション展を中心にみどころを紹介いたします)日時:11月21日[土] 11:00~12:00 | 会場:荏原 畠山美術館 新館1階多目的室講師:水田至摩子(当館学芸部長)

※関連イベントは全て事前申込制。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。
その他のイベントを開催する場合もウェブサイトでご案内します。
※事前申込不要の学芸員によるミニトークを開催いたします。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。
【お知らせ】当日券の購入およびショップ・カフェでのお支払いは「キャッシュレス決済のみ」となります。
ご利用可能な決済方法は、クレジットカード・交通系ICカード・電子マネー・QRコードとなります。

■ 次回の展覧会	冬季展 2027年1月16日[土]~3月22日[月・祝] 本館: 畠山コレクション展 初春を祝う(仮) 新館: 安井賞受賞者回顧展I 遠藤彰子の世界(仮)
----------	---

公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団
〒108-0071 東京都港区白金台2-20-12
お問 合 せ: 050-5541-8600 [ハローダイヤル]
<https://www.hatakeyama-museum.org/>



EBARA HATAKEYAMA MUSEUM OF ART
荏原 畠山美術館



【アクセス】
■ 都営浅草線「高輪台」駅下車A2出口左手交番を左折徒歩5分
■ 東京メトロ南北線・都営三田線「白金台」駅下車1番出口右手コンビニを右折徒歩10分
※一般来館者専用の駐車場(輪場)はございません。公共交通機関をご利用ください。なお車いす用駐車場(1台)は、事前に予約された方の専用駐車場です。予約方法は当館のウェブサイトでご確認ください。